

さんかくフードのカーディガン 作り方



- 三角のフードが特徴のカーディガンのパターンです。
- フードなしでの作製や、袖はリブ付き・リブなしでの作製も可能。
- スナップボタンの場合はリバーシブルとしてもお使いいただけます。
- すべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのまま使用出来ます。
- パターンに「わ」の表記と指定の数字が記載されている箇所以外は縫い代1cmで作製することとします。
- 家庭用ミシンのみで作製できます。
- ニット専用パターンです。

※ こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただいて構いません。
 ※ パターン及び仕様書自体の中古販売・複製したものの配布や販売は、固くお断りさせていただきます。
 ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

★出来上がり寸法(cm)

	70	80	90	100	110	120
着丈	29.5	32	34.5	38	41.5	44.5
身幅	30.5	32.5	35	37	39	41
袖丈	27	29	31	34	37	40

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

★必要用尺(cm)※160cm幅

	70	80	90	100	110	120
表・裏生地 各	70	75	80	85	95	100

※リブ付きverの場合はこの他に付属生地が幅×10cm程必要です。
 ※上記は表裏それぞれ全てのパーツを共布で取った場合の用尺です。
 フードを別生地にした場合、70~100sizeは表・裏生地それぞれ160cm幅×50cmで身頃と袖が取ることが出来ます。

準備

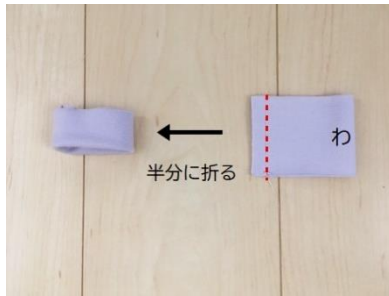
- ①前見返し(表生地)に接着芯を貼っておく。
- ②前後身頃の中心、袖の肩線、フード肩線に印をつけておく。



用意するもの

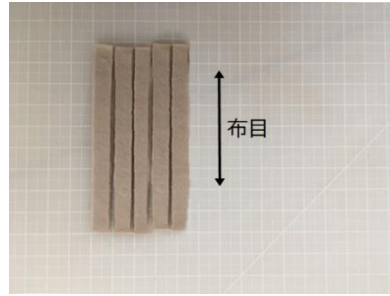
- 推奨生地…天竺ニット、スムースニット、接結ニット、ミニ裏毛、裏毛ダンボールニット、ポアニットなどの薄手~厚手生地
- 付属生地…スパンフライス、スパンテレコなど
- 接着芯…薄手の伸びないもの、またはニット用接着芯
- スナップボタン…4組
※スナップボタンの必要数は全サイズ共通です。

【縫い方手順】



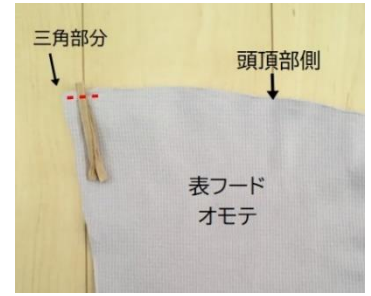
1. (袖リブ付きverのみ)

左右それぞれの袖リブの長い辺を中表に半分に折り、縫い合わせます。縫い代を割り、縦半分に畳んでおきます。



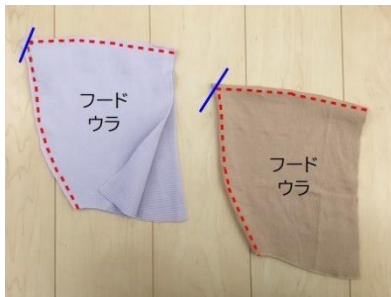
2. (タッセル風飾りを付ける場合のみ)

布目方向に縦長に切った生地を5~6本用意します。お好みの長さ・太さで良いですが、参考までにサンプル画像は80sizeに9cm×7mmくらいを6本付けています。



3. (タッセル風飾りを付ける場合のみ)

表フードのおもて面にタッセル生地を重ねて仮止めます。それを挟むようにもう片方のフードを中表に重ねます。



4. (フード付きverのみ)

表生地、裏生地それぞれのフードを中表に合わせ、頭頂部~後頭部までを縫い合わせます。

※タッセル風飾りを付ける場合...一緒に縫い込まないように注意。その部分は何度か返し縫いをしておくと良いです。

縫い代を半分に、三角部分は斜めに切り落とし、縫い代をアイロンで割っておきます。

※三角の部分はギリギリまで切りすぎるとほつれるので注意。



5. (フード付きverのみ)

表フードと裏フードを中表に合わせ、フード口を縫い合わせます。

※こちらは縫い代を残しておくでフード口がふっくらした印象になります。ゴロゴロするようなら縫い代を半分に切り落としておいても良いです。



6. (フード付きverのみ)

表に返し、アイロンで形を整えます。

お好みでフード口にステッチをかけても良いです。

三角の角は目打ちなどを使ってしっかり出しておきましょう。



7. 表生地の前後身頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。

アイロンで縫い代を割っておきます。



8. 身頃と袖を中表に合わせ、袖のカーブ部分を縫い合わせます。こちらもアイロンで縫い代を割っておきます。



9. 中表に合わせ、袖~脇下を縫い合わせます。タグなどを付ける場合はこの時点で付けておきます。



10. (袖リブ付きverのみ)

表生地の中に入れて、仮縫いで留めておきます。



11. 裏生地も工程7~9まで同じように縫い、裏身頃のみ袖下を返し口として10cm程開けておきます。こちらもタグなどを付ける場合はこの時点で付けておきます。



12. 表生地と裏生地を中表に合わせ、裾部分を縫い合わせます。縫い代はアイロンで割るか、表側に2枚とも倒しておきます。



13. 一旦表に返し、首元側を合わせると裏生地が内側に上がるので、裾をアイロンでしっかり押さえます。



14. (フード付きverのみ) 再び裏に返し、表身頃と裏身頃を中表にした状態で、フードを表裏身頃それぞれと中表に合わさる向きで挟みます。フード端は身頃の前中心に合わせます。

※縫い合わせる際にズれるのが心配な場合は、先に表生地とフードを仮縫いしておくとういことです。



15. 裾~前身頃端~首元~身頃端~裾までを縫い合わせます。



16. 前線の縫い代半分と、上下の角を斜めに切り落としておきます。フードを挟んだ部分はそのままでも良いですが、厚みがある場合はそちらも縫い代を半分にしておくと良いです。



17. 返し口から表に返します。目打ちなどで角をしっかり出しておきましょう。



18. 表袖・裏袖を返し口から引っ張り出します。※画像では表裏袖がくっついていますが、この時点ではまだ付いていません。

※ねじれないように引っ張り出すには、一旦表に返したときに裏袖を表袖の中に入れた状態で袖下の縫い合わせ線を表裏同じ位置に来るよう合わせておき、内側から袖先を持って一緒に引っ張り出すとねじれずに出せます。



19. (リブ付きリブなし共通) 表袖・裏袖を向かい合うように中表に合わせ、一周縫い合わせます。両袖とも同じように縫います。



20. 袖を元に位置に戻します。リブなしverの場合は、裾と同じく裏袖が内側に引っ込んだ状態になるので、アイロンで押さえます。返し口を閉じ、指定の位置にボタンを付けて完成です。お疲れ様でした^^